

## 資料 4-4-②

## 病理診断コンサルテーションに関する意識調査のお願い

FAX 番号 : 03-3547-5012

本調査は、都道府県がん診療連携拠点病院からの病理診断コンサルテーションの利用率向上を目的としています。貴院の病理部門責任者の先生にお渡しいただき、上記まで 10 月末日までを目途に FAX 送信いただきますようお願い申し上げます。

がん対策情報センター 多施設臨床試験・診療支援部 病理診断コンサルテーション推進室  
長谷部孝裕

質問 1. がん研究センター・病理診断コンサルテーションをご存知ですか？					
1) 知っている			2) 知らない		
質問 2. 病理診断におけるコンサルテーションの必要性につきまして、どのようにお考えですか？					
1) 必要である		2) ある程度必要である		3) あまり必要でない	4) 必要でない
質問 3. 「必要である」、「ある程度必要である」と答えた方へ。必要性が高いとお考えの臓器をお選びください（複数選択可）。「その他」を選んだ方は、臓器名をお記ください。					
1) 頭頸部	2) 消化管	3) 肝胆膵	4) 泌尿器	5) 乳腺	6) 男性生殖器
6) 女性生殖器	7) 皮膚	8) 脳・神経	9) 血液・網内	10) 骨軟部	11) 肺縦隔
12) 後腹膜	13) 心臓	14) 結膜・眼球	15) その他：		
質問 4. 貴病理部門において、病理診断につきコンサルテーションを利用する場合、どのコンサルテーションを通常利用していますか？下記よりお選びください。					
1) がん研究センター		2) 日本病理学会	3) 病理学会支部	4) 検査センター	5) 知り合いの病理医
質問 5. 2)-5)をお選びになった方へ。がん研究センター・病理診断コンサルテーションを利用することをお考えですか？					
1) 考えている		2) ある程度考えている		3) 考えていない	4) わからない
質問 6. 2)-4)と答えた方へ。その理由をお記ください。					
質問 7. がん研究センターではバーチャルライド (VS) によるコンサルテーションを受け付けています。VS によるコンサルテーションを行なったことがありますか？（がん研究センター以外のコンサルテーションでも構いません。）					
1) ある			2) ない		
質問 8. 「ある」と答えた方へ。VS は、コンサルテーションにおきまして有用なツールとなりますか？					
1) 非常に有用		2) 有用		3) どちらとも言えない	4) 無用
質問 9. 「どちらとも言えない」、「無用」と答えた方へ。その理由をお記ください。					
質問 10. VS による、がん研究センター病理診断コンサルテーションをお考えですか？					
1) 考えている		2) ある程度考えている		3) 考えていない	4) わからない
質問 11. 「考えていない」、「わからない」と答えた方へ。その理由をお記ください。					
質問 12. がん研究センター・病理診断コンサルテーションに対しますご質問、ご要望などがありましたら、お記ください。					

施設名：

回答者名：

連絡先：TEL

； E-mail

お忙しい中、意識調査票にご記入いただきまして、誠にありがとうございました。